

局友會雜報

●局友會規則改正 局友會規則中左ノ通改正シ昭和十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年一月十二日 局友會 長
第七條中「新義州」ノ下ニ「熙川」ヲ、「清津」ノ下ニ「白岩」ヲ加フ

鐵道關係雜誌記事目錄 一九五號ノ一〇

機械工學 (續)	機械學會誌	三八卷三三號
深絞り工作法に關する研究(第一報)(藤井伸二)	同	同
溶接形體の強度に及ぼす影響に就て(齋藤哲夫)	同	同
冷凍用壓縮機の辨の改良	同	同
最近の工作機械に就ての所感(延二木)	同	同
排氣機の機能	同	同
旋盤バイトの摩滅測定の新方法とその結果(石田謙一)	同	同
溶接部の温度と膨張力分布に就て(横田清義)	同	同
機關車用 Dunblow 消音機	同	同
四、四〇〇馬力の溶接機組機關	同	同
齒車の精度	同	同
設計實例 P. C. I. (實科學研究所の温度調節裝置(淺野定次))	同	同
電氣俱樂部の冷房裝置について(土井季正)	同	同
溶接部分品の検査方法	同	同
最近施行の高速度ガソリン動車の試運転成績より見て今後の計畫を語る	同	同
列車の冷房裝置の語(其一)(佐竹達二)	同	同
國鐵の定期的サービス富士號の列車風呂	同	同
空襲警報機の原理(長谷川宏)	同	同

定例一箇月郵税共
金 六 十 三 錢

木村・工作機械に於ける電動應用	電氣學會雜誌	三三卷一〇號
エヤー・コンデイションングに就て(瓜生六郎)	電氣之友	七三卷八二號
精密機械工業の一分科限界ゲージに就て(上月清三)	日立評論	一八卷八號
エレベーターの機械的安全裝置(加藤利一)	研究報告	七號
眞鍮の耐蝕性と加工度の關係(田邊友次郎)	同	九號
鐵道用鋼管腐蝕の二形態に就て(緒川武良司)	同	一〇號
工具用特殊鋼の豫備的研究(第一報)(同)	同	一二號
ヂュラルミンの燒入歪に關する二三の實驗(五十嵐勇)	同	七卷一號
母合金元素鋼の溶解法改善	同	同
腐蝕による鼠齒鐵の黒鉛化現象と含鋼鐵の耐蝕性に就て(山本洋一)	同	同
鋼鐵鋼管用鋼管に就て	同	同
鋼鐵の基礎(大西信三郎)	同	同
鋼鐵の迅速検査法(山本光男)	同	同
金屬及合金の折れ口に就て(一)飯高一郎	同	同
曲蒸氣管用手の製作に就て	同	同
ピストンリング金鋼製製作法	同	同
鐵道車輛と鋼物(吉澤英雄)	同	同
鋼塊用鋼製製作に就て(日黒斌)	同	同
二、三の特殊可鍛鋼鐵に就て(内藤逸策)	同	同
鋼鐵方案と其れに關聯する諸規程(一)(補遺四部)	同	同
金屬の腐蝕に就て(山本洋一)	同	同
鋼物傾斜倒置法に就いて	同	同
廿五種鋼鐵の設計に就いて(山本光男)	同	同
銅合金に對する酸化劑と脱酸劑の影響(澤井寛一)	同	同
鋼鐵鋼物の永久鋼造力と其除去法(一)(石川登喜治)	同	同
鋼鐵の凝固速度の法則並に其應用に就て(山田福治)	同	同
特殊鋼の溶接	同	同
内力除去と溶接部の物理的性質に及ぼす影響の影響	同	同
燒入用冷却液に就て(原沢英雄)	同	同
自動車用アルミに就て(林英孝)	同	同
耐熱鋼鐵(一)(前田六郎)	同	同

發行所 京城府漢江通十五番地
朝鮮總督府鐵道局

朝鮮總督府 鐵道局 報

第二千六百四十八號

昭和十一年一月十四日

火 曜 日

(大正十四年 四月一日)

第三種郵便物認可

(日刊除日曜及祝祭日ノ翌日)

通 牒

○通第九號

團體乗車ノ件

2 忠臣會劇團一行(チウ)

月 日	區 間	車 種	客 車 増 結	旅 館 名	記 事
一月十五日	新 京 間	第一 列車			

○通第一〇號

貨物引換證ニ關スル件

昭和十一年一月一日以後發行スル貨物引換證ニハ普通ノ黑色インキヲ以テ記入スルモ妨ゲナシ

(昭和七年八月一日附局報雜錄參照)

辭 令

龍山驛務掛ヲ命ス

營

雇員 三木 三郎

願ニ依リ雇員ヲ免ス

(建設 課)

雇員 執行 實

一月十日 (工 作 課)
願ニ依リ雇員ヲ免ス
雇員 山上 夫一

一月十日 (釜山鐵道事務所)
願ニ依リ雇員ヲ免ス
草機 機助
雇員 石田政之助

一月九日 (城津鐵道事務所)
白岩機關區技工手ヲ命ス
城機 技工
雇員 島田八重吉
同 技工合北在同 柳野 信市
城津機關區合圖手兼務ヲ免ス
新北青在勤
城檢 檢 同 岡村 龜一
新北青在勤ヲ命ス
同 同 白在 同 濱田 惣一
以上一月十一日

一月九日 (京城工場)
願ニ依リ雇員ヲ免ス
雇員 大坪 光雄

京城工場組立職場技術掛ヲ命ス 組織 技工 雇員 印收 實

(各通)

京城工場仕上職場技術掛ヲ命ス 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京城工場鍛冶職場技術掛ヲ命ス 以上一月十一日

(庶務課)

願ニ依リ備人ヲ免ス 事見 備人 川内 敏雄

一月九日

(營業課)

備人ヲ命ス 日給四十五錢ヲ給ス 大場 喜友

平壤鐵道ホテル給仕ヲ命ス 一月十一日

(工務課)

願ニ依リ備人ヲ免ス 同 工 技見 備人 戶上 勇

一月九日

備人ヲ命ス 日給二圓八十錢ヲ給ス 同 同 同 原田 寬

電機修繕場電氣手ヲ命ス(作) 一月十三日 備 常一

(工作課)

定例一箇月郵稅共 金六十一圓三錢

願ニ依リ備人ヲ免ス 一月十日

雜錄

技見 備人 櫻井 近

●左ノ鐵道無賃乘車證紛失ノ旨届出ニ付自今無効トス

種別	番號	等級	區區	間	間	身分	氏名
局内	三三八八	貳	木安	東山	浦開	自昭和十一年一月二十五日	平壤鐵道委員 有馬 泰

●工事指定請負者營業所移轉

請負者	舊營業所	新營業所	記	事
奥山林造	京城府榮町二十五番地	京城府錦町七拾番地ノ貳		

●荷物搜索 通報先 大田鐵道事務所

引越荷物 石油箱入(ゴム長靴、皮靴、其他履物)一箇 右ハ十二月二十九日吉州發井邑著貨物通知書第五二號一箇口ニ對スルモノ

●十二月三十日 中間車積

成興驛ニ於テ不足發見

五四六列車

●荷物搜索 通報先 京城鐵道事務所

小豆 麻袋入 一箇 八二疋

右十二月三十一日縣里發清涼里著貨通第一六號二箇口ニ對スルモノ

●十二月三十一日 鐵道清涼里中間ワ二八七二號積

第五四四列車 著譯不著

發行所 京城府廣江通十五番地 朝鮮總督府鐵道局

朝鮮總督府 鐵道局 報

第二千六百四十九號

昭和十一年一月十五日

水曜日

(大正十四年 四月一日)

第三種郵便物認可

(日刊除日曜及祝祭日ノ翌日)

達示

◎達甲第二十一號

明治四十五年三月達第百八十八號運輸收入帳表類取扱手續中昭和十一年二月二十日ヨリ左ノ通改正ス

昭和十一年一月十五日

鐵道局長

第一章第二十三節第一條中「聯絡運輸急行寢臺券」ヲ「内鮮滿連絡急行寢臺券」ニ、同第二條第一號中「ト」聯絡運輸急行寢臺券「聯急」ヲ「ト」内鮮滿連絡急行寢臺券「急寢」ニ改ム、

同第二十五節第三條中「聯絡運輸急行寢臺券」ヲ「内鮮滿連絡急行寢臺券」ニ改ム (運輸表三頁参照) (運輸表九頁参照)

◎達甲第二十二號

昭和十一年三月達第九十九號當局線ト鐵道省線間急行寢臺券發賣手續中昭和十一年二月二十日ヨリ左ノ通改正ス

昭和十一年一月十五日

鐵道局長

第一條中「連絡運輸急行寢臺券」ヲ「内鮮滿連絡急行寢臺券」ニ改ム 第五條 急行寢臺券ノ様式及取扱方左ノ如シ

局報 第二千六百四十九號

昭和十一年一月十五日

(第三種郵便物認可)

一様式

甲 五・七種		乙 四・三種	
内鮮滿連絡寢臺券	内鮮滿寢臺券	内鮮滿連絡寢臺券	内鮮滿寢臺券
自 至 月 日 列車番號	自 至 月 日 列車番號	自 至 月 日 列車番號	自 至 月 日 列車番號
車種番號	車種番號	車種番號	車種番號
急行料金	急行料金	急行料金	急行料金
料上 圓 錢	料上 圓 錢	料上 圓 錢	料上 圓 錢
寢臺料金	寢臺料金	寢臺料金	寢臺料金
段 圓 錢	段 圓 錢	段 圓 錢	段 圓 錢

1. 本券ハ一回乘車ニ限リ有效デアリマス
2. 列車ヲ指定シタ場合ハ當該列車ニ限リ有效デアリマス
3. 本券ハ下車驛ノ係員ニオ渡シ下サイ

1 2 3 4

(東京驛發賣) 東京驛

備考

イ 著色(表) 淡褐色

ロ 番號 一號ヨリ一千號ニ至リ循環ス

取扱方